



ほけんだより

令和7年7月発行
大府市保育園看護師



梅雨の晴れ間の青空が少しずつ広がるようになりました。暑さが日増しに強くなる時期で、体力を消耗しやすく、感染症にかかりやすくなります。毎日の体調の変化に気を付けましょう。

症状によって診断名が変わります！

アデノウイルス感染症

《流行性角結膜炎》

充血
目やに
まぶたの腫れ

《感染性胃腸炎》

下痢
嘔吐
腹痛

《咽頭結膜熱》

発熱
のどの痛み



- 感染力が強く、咳やくしゃみの飛沫、目やにや排泄物の付着した手やタオルによる接触で感染します
タオルの共用は避けましょう
- 症状が気になる場合は、早めに受診しましょう。咽頭結膜熱と診断された場合、登園許可証の提出が必要です
- 症状消失後も、約1か月は尿・便からウイルスが排出されます



とびひ（伝染性膿痂疹）

虫刺されや湿疹等で傷ついた皮膚に細菌が感染し、かゆみのある水疱やかさぶたができます
掻いた手で体のほかの部分に触ると症状が体のあちこちに広がります
治りにくい傷を見つけたら早めに受診しましょう



家庭での手当て

- 入浴時、泡で丁寧に洗う
- 爪を短く切る

登園時の注意点

- 病変部分はガーゼで覆う
- 病変が覆えない場合は、自宅で療養をお願いします

『こどもの体力向上を目指して』 ☆バランスをとってみよう☆

0・1・2歳児 「ペンギンで歩こう」

手をつないで向かい合います。こどもの足を大人の足の甲に乗せて歩いてみよう。

3・4・5歳児 「手押し相撲」

向かい合って立ちます。「はっけよいのこった」の合図で手と手を合わせて押し合います。バランスを崩さずに立っていられたら勝ちです。

